

第2章 都農町の景観特性と課題

1. 都農町の概況

(1) 位置

都農町は宮崎県の中央からやや北寄り、宮崎市と延岡市の間位置し、北は日向市、南は川南町、西は木城町に接しています。また、東は日向灘に面し、西は尾鈴山系を含みます。

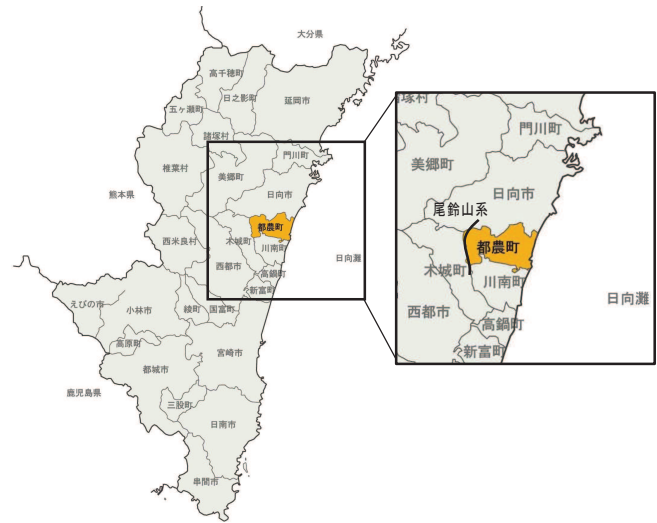


図 2.1-1 都農町の位置

(2) 地形、地質

都農町の西側半分近くを占めている尾鈴山系は尾鈴山を最高峰(1405.2m)とし、矢筈(ヤハズ)岳や畑倉(ハタクラ)山などを含みます。この東側に台地状の平野が広がり、心見(ココロミ)川、都農川、名貫(ナヌキ)川が山や台地を切り開きながら、西から東へと流れ、川沿いに低地をつくっています。さらに、日向灘沿いには細長い低地が連なり、この低地と台地の境は崖となり、水がしみ出ています。

日向灘から尾鈴山の山頂まで標高 0m～1405.2mと標高差があり、町を中心は標高 10～50mの台地となっています。

日向灘から真正面に仰ぐ尾鈴山は、左右対称のなだらかな稜線をもつ大変美しい山であり、尾鈴山系の中心に位置しています。更に、尾鈴前山として、畑倉山、角崎(ツノザキ)山、権現尾(ゴンゲンオ)などの諸峰があります。この尾鈴山系は全て、1500 万年前の火山活動で堆積した溶岩が隆起してできた山です。

都農町の地質をみると、1500 万年前ごろに尾鈴山の噴火によって形成された花崗岩やデイサイトによるものがほとんどであり、台地状のエリアは段丘堆積物により構成されています。

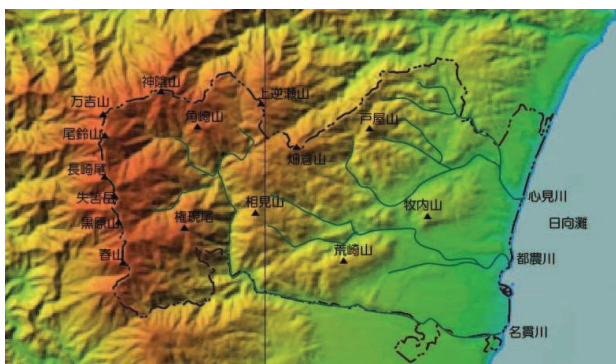


図 2.1-2 色別標高図
(資料:国土地理院地図)

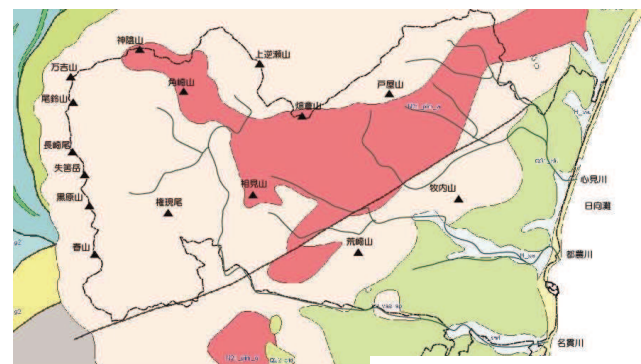


図 2.1-3 地質図
(資料:産総研地質調査総合センターウェブサイト
<https://www.gsj.jp/license/license.html>)

凡例
花崗閃緑岩・トータル岩 塊状 島弧・大陸
デイサイト・流紋岩 大規模火砕流
段丘堆積物
海岸・砂丘堆積物
谷底平野・山間盆地・河川・海岸平野堆積物

(3) 気候

宮崎県は年間日照時間が全国でも上位にあり、温暖な気候となっています。梅雨や台風による降水量も多く、温暖多雨な気象となっています。

都農町の気温は過去10年間(2011年～2020年)平均気温をみると、年間平均16.7℃で、最も気温が高いのは8月で27.1℃、最低は1月で6.4℃と温暖となっています。

降水量は、過去10年間(2011年～2020年)平均降水量より、年間合計3,298mmで、月別にみると6月に最も雨が多く、700mmを超えています。

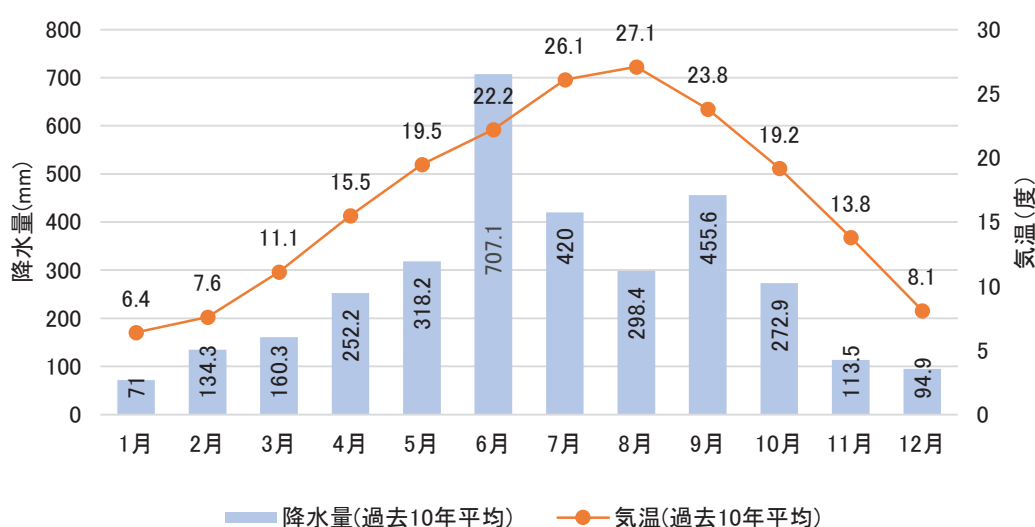


図 2.1-4 月別の気温と降雨量(2011年～2020年の平均値)

資料: 気象庁 HP より

※都農観測所では降水量のみ観測

※気温は日向観測所の値を使用

(4)人口

都農町の人口は、国勢調査の結果より1950(昭和25)年に15,670人とピークに達しましたが、その後は高度経済成長期の人口流出により、急激な人口減少を続け、1970(昭和45)年には12,479人まで減少しました。その後、Uターンや人口流出の鈍化により増加に転じ、1985(昭和60)年頃まではその傾向が続きました。それ以降は再び人口減少に転じ、宮崎県の推計人口と世帯数より、2019(令和元)年の人口は10,028人と過去最少となっています。

世帯数は概ね横ばい傾向ですが、2015(平成27)年以降はわずかですが増加し、2019(令和元)年には4,019世帯となっています。

近年の人口減少は若年層の流出などの社会動態に加え、出生率の低下による自然動態によるものでしたが、2014(平成26)年以降は、転出者の減少により減少状態が抑制されつつあります。

将来人口推計では、今後も人口は減少し、2045(令和27)年には約5,900人になると予測されています。(資料:国立社会保障・人口問題研究所より)

人口の分布(図2.1-7)をみると、都市計画区域内に約6割、用途地域内に約4割の人が集中しています。更に国道10号沿いや県道都農綾線沿いに人口が集中しています。

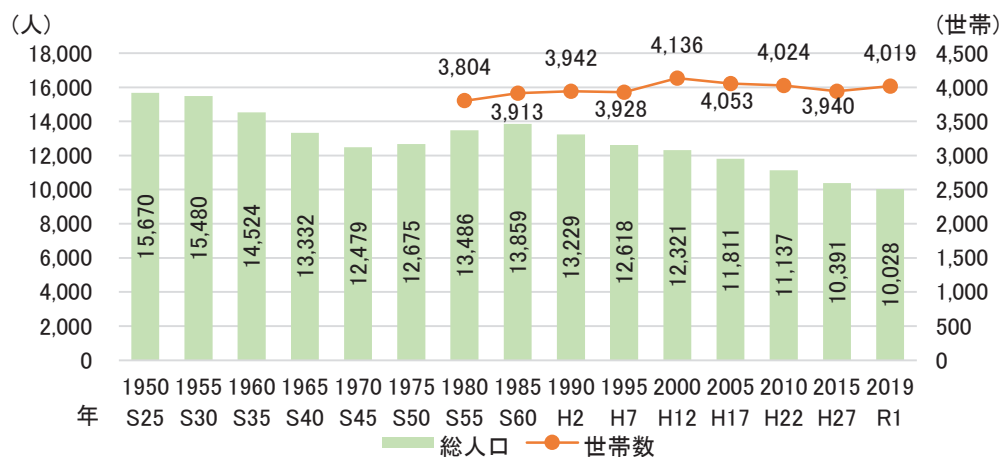


図2.1-5 人口と世帯数の推移
(資料:国勢調査、但し2019年は宮崎県の推計人口と世帯数による)

年齢別人口構成比(図2.1-6)をみると、2019(令和元)年で年少人口が12.7%、生産年齢人口が49.1%、老年人口が38.2%となっており、県平均と比べると生産年齢人口の比率が低く、老年人口の比率が高くなっており、高齢化率が高くなっています。

町内の高齢人口の分布状況(図2.1-8)を見ると、高齢化率のとおり、ほぼ全域で高齢化率は30%以上となっており、山間部に近い地域では50%以上となっています。

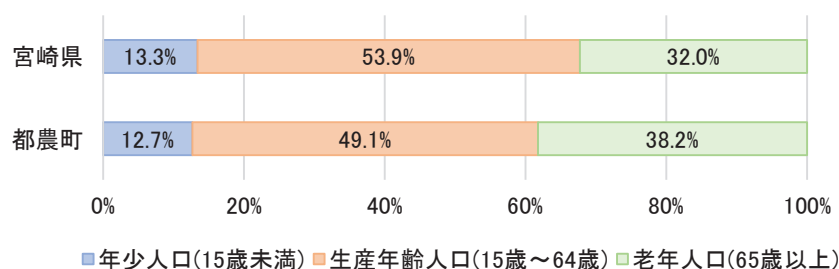


図2.1-6 年齢別人口構成比(2019年)
(資料:宮崎県現住人口調査)

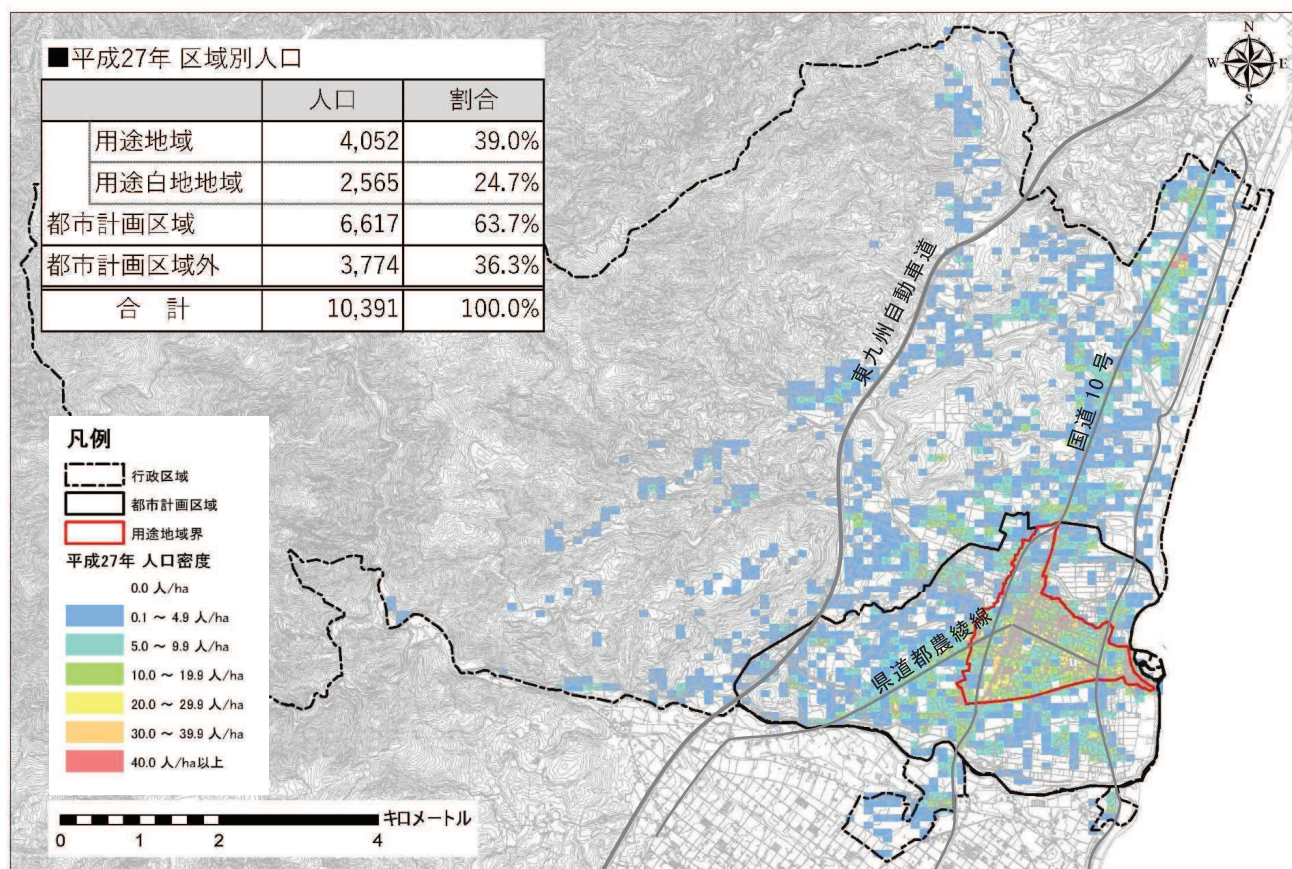


図 2.1-7 人口の分布

(都農町都市計画マスタープラン(2021年3月作成)より抜粋 資料:国勢調査より作成)

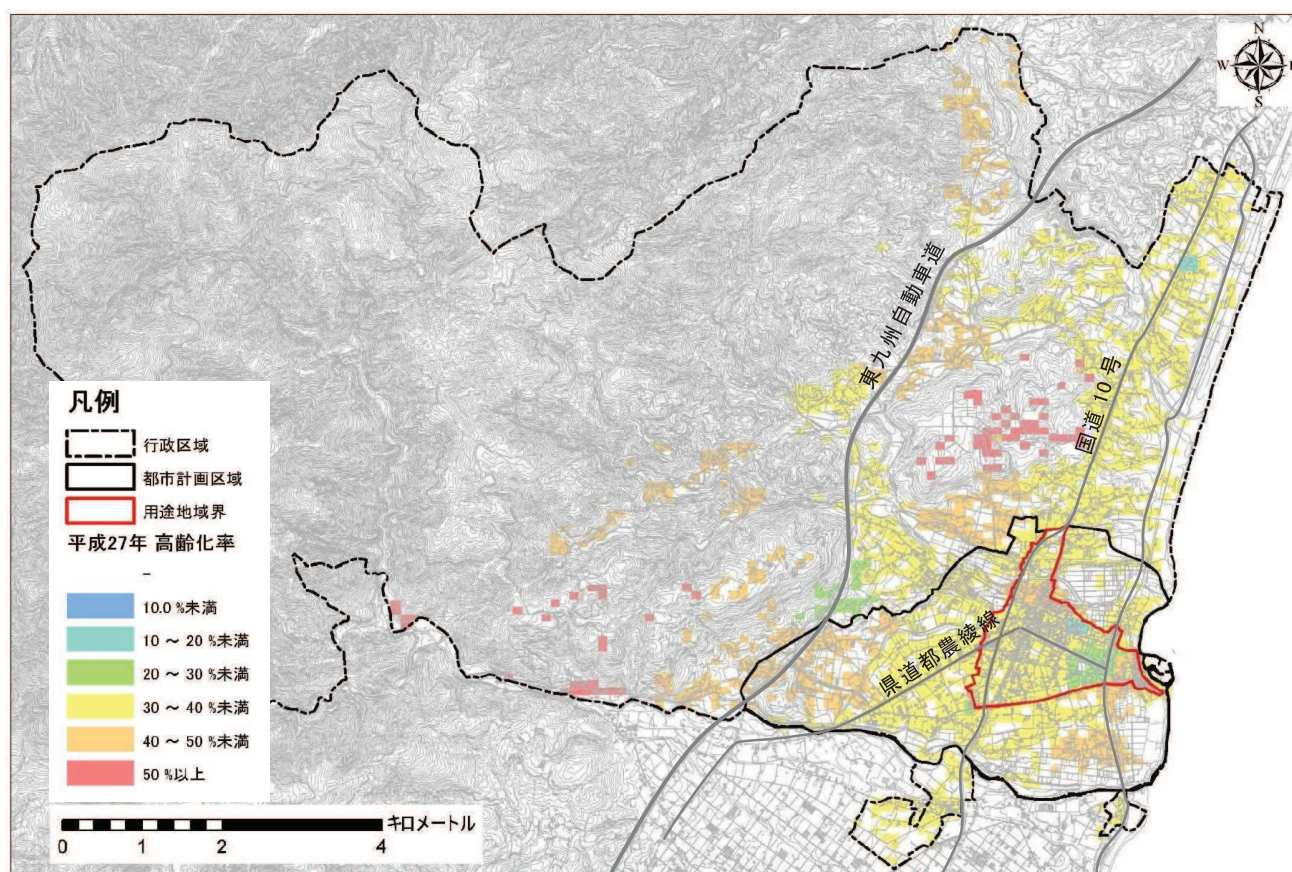


図 2.1-8 高齢化率

(都農町都市計画マスタープラン(2021年3月作成)より抜粋 資料:国勢調査より作成)

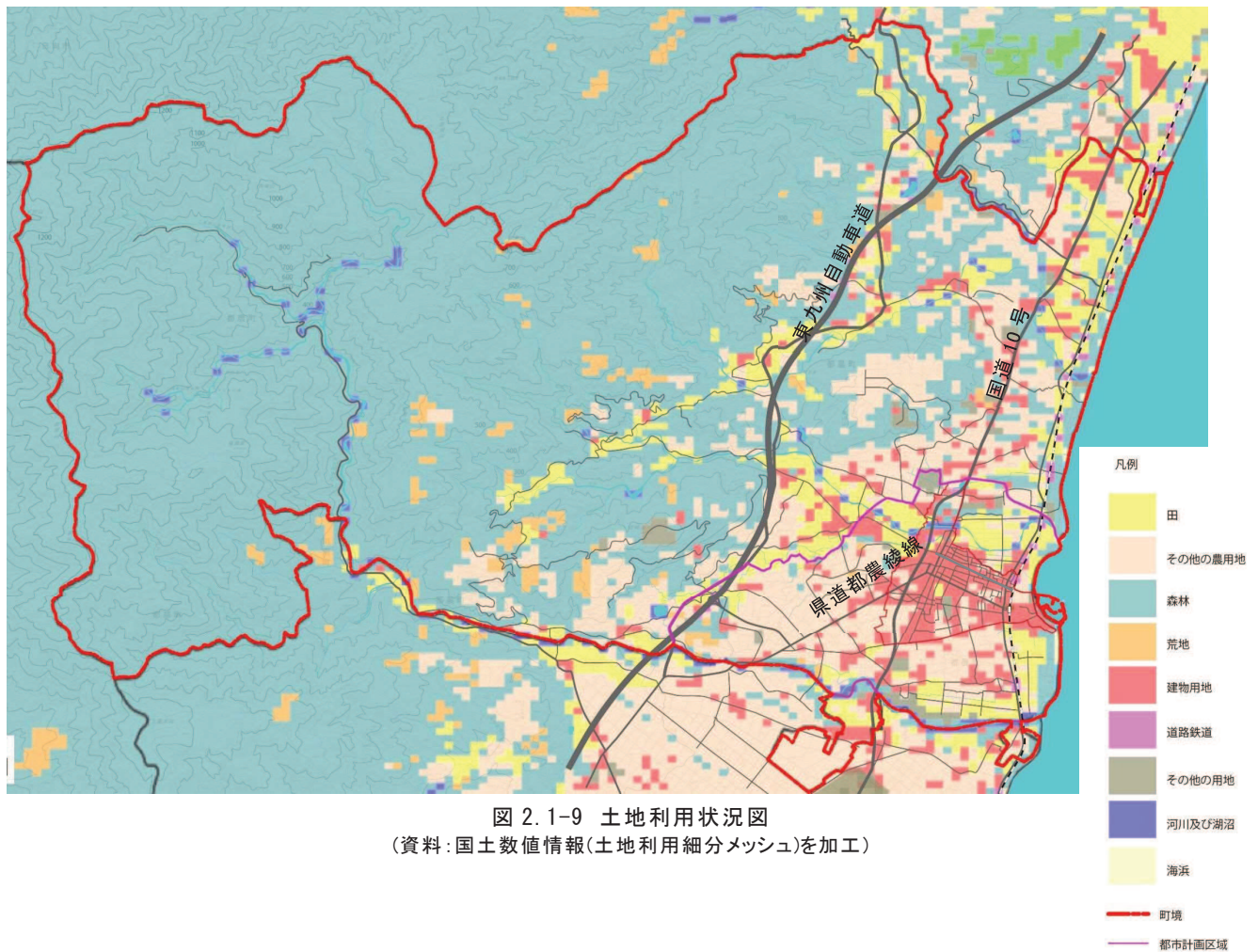
(5) 土地利用状況

都農町の面積は 102.11 km²で、うち林野が約 62%、そのうち国有林が約 77%となっており、宮崎県内で最も国有林面積割合が高くなっています。田畑は合計で約 15%を占め、宅地は約 4%となっています。

表 2.1-1 面積一覧 (ha)

地目	林野	国有林	田	畑	宅地	総面積
面積(ha)	6,360	4,925	540	961	420.4	10,211 (102.11 km ²)
率(%)	62.3	(77.4)	5.3	9.4	4.1	—

(資料:指標で見る宮崎県 市町村 自然環境 2019 年度)



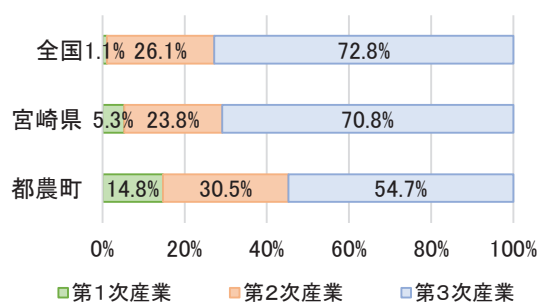
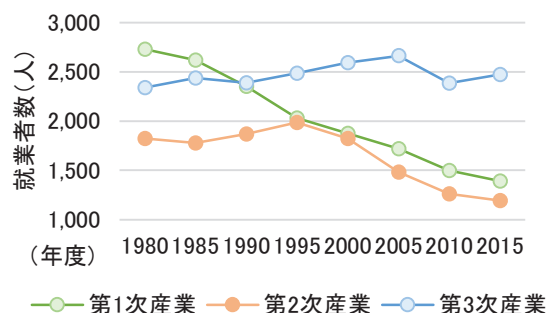
(6) 産業

都農町の総生産額(表 2.1-2)をみると建設業が19.9%と最も高く、次いで農業が14.1%、製造業が11.0%となっています。また、総生産額産業別構成(図 2.1-10)をみると、第1次産業が約15%、第2次産業が約31%となっており、これは宮崎県、全国と比較しても高い数値となっています。また、産業別就業人口推移(図 2.1-11)をみると、第2次産業の割合が最も低くなっており、第1次産業、第2次産業いずれも減少傾向となっています。

表 2.1-2 都農町総生産額(2017年)

(単位:百万円)		
経済活動の種類	総生産額	構成比(%)
1 農業	3,817	14.1
2 林業	91	0.3
3 水産業	118	0.4
4 鉱業	0	0.0
5 製造業	2,959	11.0
6 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	876	3.2
7 建設業	5,362	19.9
8 卸売・小売業	1,847	6.8
9 運輸・郵便業	1,182	4.4
10 宿泊・飲食サービス業	260	1.0
11 情報通信業	331	1.2
12 金融・保険業	570	2.1
13 不動産業	2,671	9.9
14 専門・科学技術・業務支援サービス業	689	2.6
15 公務	1,878	7.0
16 教育	1,860	6.9
17 保健衛生・社会事業	2,180	8.1
18 その他のサービス	571	2.1
小 計	27,262	101.1
輸入品に課される税・関税	428	1.6
(控除)総資本形成にかかる消費税	712	2.6
市町村内総生産	26,978	100.0

(資料:市町村民経済計算)

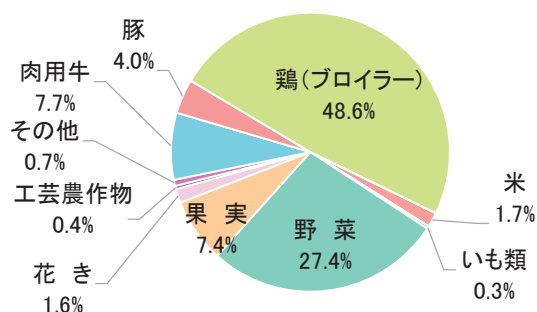
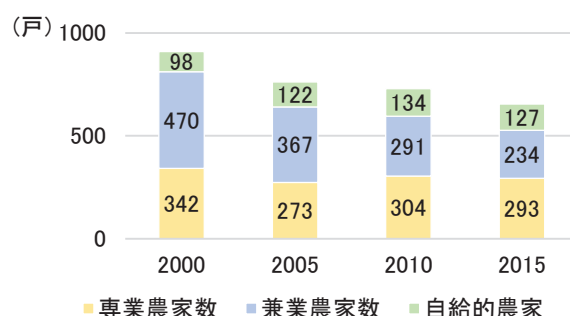
図 2.1-10 総生産額産業別構成
(資料:市町村民経済計算)図 2.1-11 産業別就業人口推移
(資料:国勢調査)

① 農業

農業産出額(図 2.1-12)をみると、鶏(ブロイラー)が最も多く約49%を占め、次いで野菜が約27%、果実が約7%となっています。

都農町の農産物としては、温暖な気候、土地条件などの自然特性を活かした野菜や果実などの園芸農業(トマト、ぶどう、きゅうり、花き)、畜産(ブロイラー、肉用牛、養豚)など多種多品目が生産され、都農町の基幹産業となっています。

また、農家数の推移(図 2.1-13)をみると、専業農家、兼業農家いずれも減少傾向にあります。

図 2.1-12 農業産出額(2018年)
(資料:市町村別農業産出額)図 2.1-13 農家数の推移
(資料:農林業センサス)

②林業

林業の総生産額としては全体の 0.3%となっています。町内の林野面積は 6,360ha あるうちの、4,925ha を国有林が占め、国有林率は約 77%と非常に高く、宮崎県内で最も多くなっています。一方民有林は 1,435ha で 23%と極めて低く、そのうち 692ha は町有林となっています。

民有林の人工林率は 53%で、その大半が保育・除間伐を必要とする森林です。

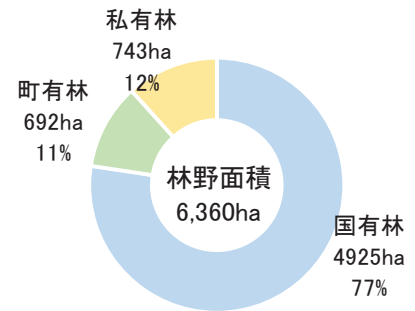


図 2.1-14 林野面積内訳 (2015 年)
(資料: 農林業センサス)

③水産業

水産業の総生産額は全体の 0.4%となっています。魚種別漁獲量(図 2.1-15)としては、まぐろやかじき、ふぐなどが多く、近海のはえ縄漁、刺網漁が主となっています。

漁業就業者数の推移(図 2.1-16)より、就業者数は減少傾向にあり、高齢化が進んでいます。

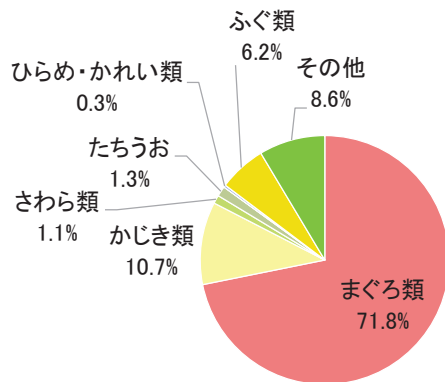


図 2.1-15 都農町 魚種別漁獲量 (2018 年)
(資料: 海面漁業生産統計調査)

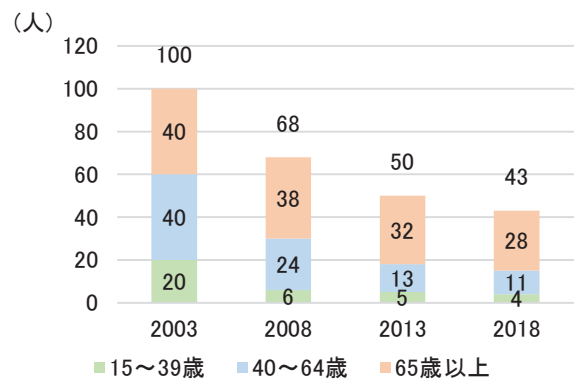


図 2.1-16 漁業就業者数の推移
(資料: 漁業センサス)

④工業

都農町の製造業事業所数・事業者数の推移(図 2.1-17)をみると、事業所数は概ね 15 事業所前後を推移しており、その内訳としては「食料品」、「木材」が多くなっています。従業員数は 2012 年以降増加傾向となっています。

また、企業誘致については、これまで製造業を中心に誘致活動に取り組み 2020 年度時点で 12 社の誘致企業があります。今後も企業の誘致を推進するため、利便性の高い工業用地の確保に努めることとされています。

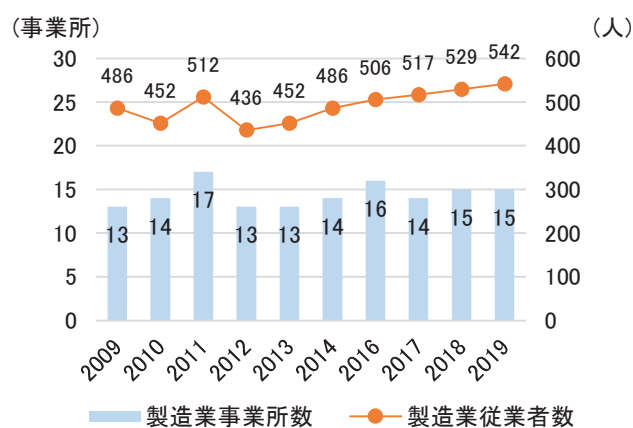


図 2.1-17 製造業 事業所数・事業者数の推移
(資料:工業統計調査、経済センサス活動調査)
※2015 年度は調査期限変更のためデータなし

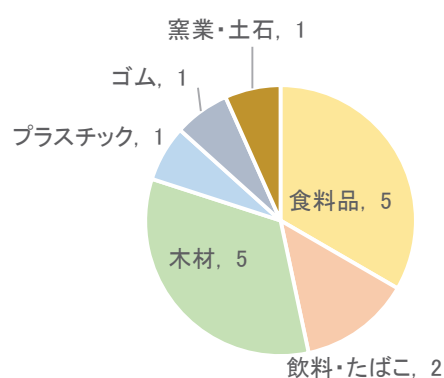


図 2.1-18 製造業 事業所内訳(2019 年)
(資料:工業統計調査)

(7) 歴史と文化財

都農町には、古代日向の伝説が数多く残っています。日向国一之宮である都農神社は日向國で最も由緒ある神社であり、「続日本後記」に西暦 800 年代前半の事象として「都濃神」「都濃皇神」の名が記されています。また、尾鈴山の伝説も古く、神体として信仰の対象となっています。さらに、明田地区などには古代の古墳として積石塚が 10 数基群在しており、九州では他に例を見ません。

荘園時代を経て、鎌倉時代から江戸時代にいたる間は、土持氏、伊藤氏、島津氏の所領となっており、1578 年には大友宗麟と島津義久の戦いがあり、一之宮都農神社が消失しています。江戸時代には高鍋藩に属しました。このころの都農は、城下町高鍋と藩港美々津港の中間地点にあり、豊後街道(旧国道 10 号)沿いは、宿駅中宿として京阪を往来する一行で賑わっていました。またこのころから藩財政の最重要財源であった石河内尾鈴の豊富な山林資源や未開拓の丘陵原野をもち、そこから産出される林産物の出荷の中心地であったとされ、高鍋藩にとっても重要な位置づけであったことが伺えます。

廃藩置県後の県制の流動時期を経て、1883(明治 16)年に宮崎県児湯郡に入り、1989(明治 22)年に都農村、1920(大正 9)年に都農町となり現在に至っています。

昭和に入ると、県の打ち出した開拓移民の招致計画により、三日月原や朝草地区などの草地が急速に畑に代わり、国道筋は松原地区の南端まで家が立ち並び栄えていきました。四国や大分県からが多く、開拓農家だけでなく、商人、職人なども移住してきました。

このような豊かな歴史資源に恵まれ、一之宮都農神社夏の祭、冬の祭での高鍋神楽、寺迫奴踊り、松原獅子、篠別府棒踊りなどの地域固有の伝統的文化遺産が現在に息づいています。



一之宮都農神社夏の祭
(出典: 都農町観光協会 HP より)



松原獅子
(出典: 都農町観光協会 HP より)



一之宮都農神社冬の祭での高鍋神楽
(都農町観光協会 HP より)



一之宮都農神社冬の祭
(出典: 都農町観光協会 HP より)

都農町内の文化財として、指定されているものは以下のとおりとなっています。

表 2.1-3 都農町内の指定文化財

種別		名称	所在	指定年月日
国指定	名勝	尾鈴山瀑布群	尾鈴山名貫川流域	昭和 19 年 3 月 7 日
	重要文化財	赤木家住宅	北町	平成 16 年 12 月 10 日
県指定	史跡	旧藩都農牧駒迫込場跡	岩山	昭和 11 年 7 月 17 日
	史跡	都農古墳(11 基)	黒萩、岩山、明田、福原尾	昭和 11 年 7 月 17 日
	無形文化財	高鍋神楽(都農神楽)	都農神楽保存会	昭和 44 年 4 月 1 日
町指定	天然記念物	尾鈴のモミ	尾鈴キャンプ場	平成 4 年 12 月 14 日
	天然記念物	都農一之宮のクス	一之宮都農神社境内	平成 4 年 12 月 14 日
	天然記念物	征矢原のイチョウ	征矢原	平成 4 年 12 月 14 日
	天然記念物	征矢原のイチイガシ	征矢原	平成 4 年 12 月 14 日
	天然記念物	轟のヤッコソウ	轟	平成 23 年 3 月 17 日

表 2.1-4 その他の文化財等(未指定)

種別	名称	備考(開催時期)
郷土芸能	都農獅子、浦安の舞	一之宮都農神社夏の大祭(8 月 1 日、2 日)
	寺迫奴踊り	菅原神社秋祭りで奉納(旧暦 11 月 16 日)
	松原獅子	都農町松原
	篠別府棒踊り	都農町篠別府
史跡	去飛の駅井戸	福原尾
希少植物	キバナツキヌキホトギス	尾鈴の固有種で絶滅危 IB 類 EN-r
	ナガバサンショウソウ	現在長崎と宮崎のみ生息で准絶滅危惧

表 2.1-5 町のシンボル

種類	名称
花	尾鈴寒らん
木	いちょう
鳥	めじろ



都農古墳



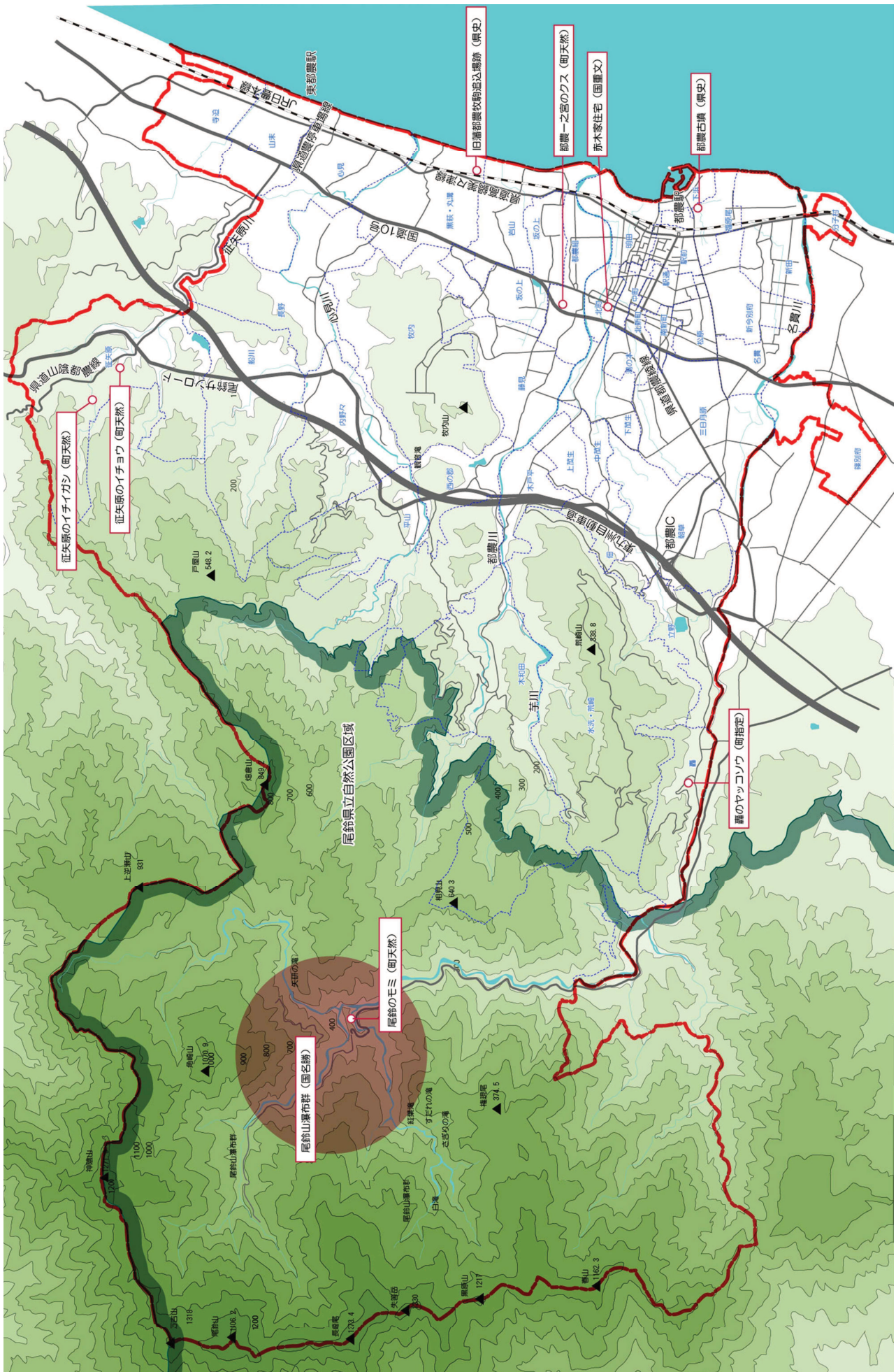
征矢原のイチョウ



轟のヤッコソウ



去飛の駅井



(8) 自然環境

環境省の自然環境保全基礎調査(第6回 1999年～2005年、第7回 2005年～2012年)の結果によると、尾鈴山系のおおよそ標高 1,000m以上のエリアにおいては、ブナクラス域の落葉広葉樹林の自然植生が部分的に現存します。標高 1,000m 以下のエリアでは、ヤブツバキクラス域の常緑広葉樹林となり、中でも尾鈴山瀑布群周辺は、自然植生が多く残っています。尾鈴山周辺には尾鈴山ツツジ科植物群落があり、極めて稀な植物群落または個体群となっています。また、林野庁の保護林として、「尾鈴コウヤマキ希少個体群保護林」が指定されており、コウヤマキ群生地分布南限で希少価値が高いとされています。

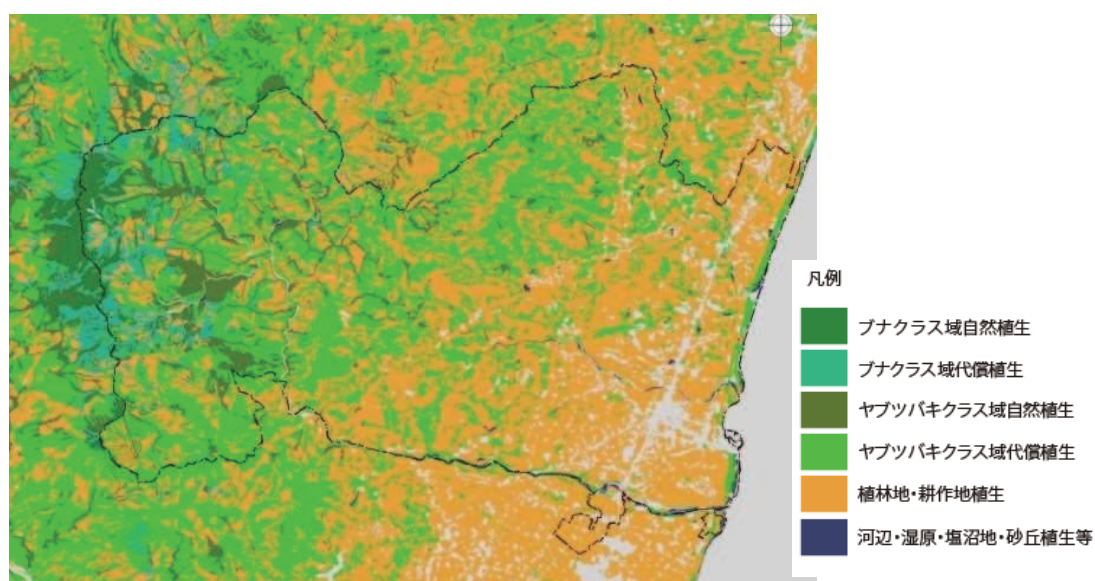


図 2.1-20 植生調査 第 6,7 回植生帯、自然・代償植生 GIS データ
(環境省生物多様性センター)を使用し、作成・加工したものである。
(http://www.biodic.go.jp/ne_research.html)

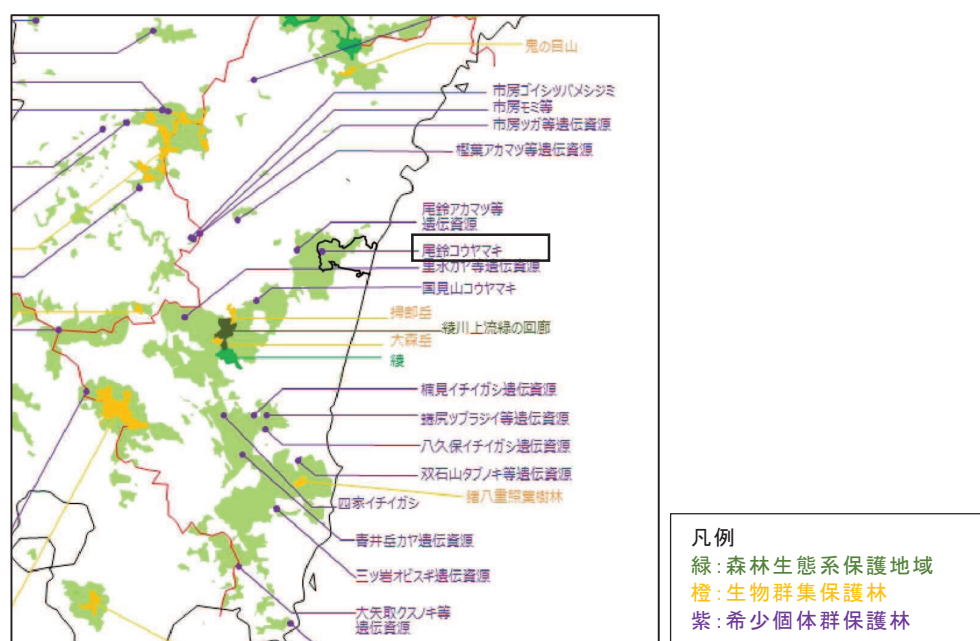


図 2.1-21 保護林位置図 (資料:九州森林管理局)

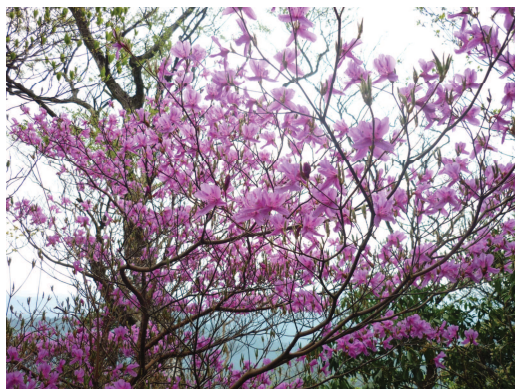
また、尾鈴山周辺は宮崎県の風景を代表する、優れた自然の風景地として「尾鈴県立自然公園」に指定されており、ここに源を発する名貫川は、巨石、奇岩に富み、日本の滝 100 選にも選ばれている「矢研の滝」をはじめ、「小矢研の滝」、「若葉の滝」、「次郎・四郎の滝」「すだれの滝」、「さぎりの滝」、「白滝」といった大小 30 余りの滝があり、総じて「尾鈴山瀑布群」として国の名勝に指定されています。



尾鈴山瀑布群 (出典: 都農町観光協会 HP より)



名貫川 (轟地区)



アケボノツツジ



尾鈴コウヤマキ

(9) 観光

都農町の観光は、観光入込客数推移(図 2.1-22)でみると、2012 年(平成 24 年)以前は、約 40 万人程度で推移していましたが、2012 年には口蹄疫の影響で一時的に落ち込みました。2013 年(平成 25 年)7 月に、道の駅「つの」がオープンしたことにより、観光客数は前年の 2 倍以上に増加しました。2015 年(平成 27 年)には 100 万人を越え、その後若干の下降傾向となっています。

県内観光地・観光施設では、2014 年(平成 26 年)に道の駅「つの」が県内で 7 位にランクし、以降 10 位以内を保っています。

また、都農町では、登山、キャンプ、川遊び、紅葉など四季を通じて観る・楽しむ場所があり、各地でイベントやお祭りなどが開催されています。

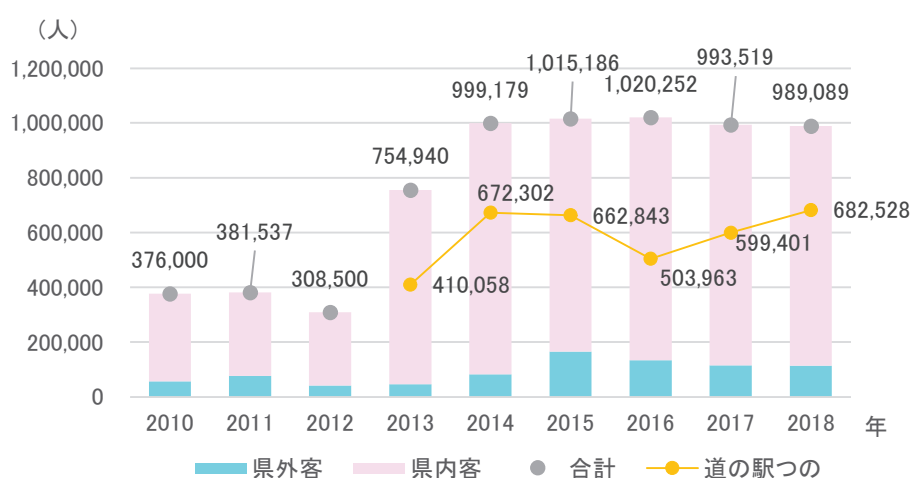


図 2.1-22 観光入込客数推移



道の駅「つの」



一之宮都農神社夏の祭
(出典:都農町観光協会 HP より)



都農ワインハーベストフェスティバル
(出典:都農町観光協会 HP より)



登山
(出典:都農町観光協会 HP より)



川遊びの様子(名貴川)



尾鈴もみじ狩り
(出典:都農町観光協会 HP より)

表 2.1-6 都農町内の見どころ

季節	観る・楽しむ	イベント・お祭り
春	[桜] ・桜並木 ・不動公園 ・立野ウォーキングコース [しゃくなげ] ・不動公園 ・尾鈴山 [つつじ] ・牧神社 [あけぼのつつじ] ・尾鈴山	[3月]蹴ー1GP [3月下旬]花まつり(不動公園・牧神社) [4月下旬]尾鈴山開き
夏	・観光農園 ・尾鈴山の滝 ・尾鈴キャンプ場、川あそび ・名貫川河口、川あそび ・棚田の風景(木和田)	[7月中旬]尾鈴滝めぐり [8月1日、2日]日向国一之宮都農神社夏の火祭 [8月下旬]川まつり [8月下旬]つの町民花火大会 [8月]各地区のお祭り・盆踊り
冬	・イチョウ並木(駅前) ・尾鈴キャンプ場もみじ狩り ・尾鈴山歩き	[9月中旬]伊勢えびまつり [10月下旬]都農ワインハーベストフェスティバル [10月下旬]旧車の祭典 [11月中旬]尾鈴もみじ狩り
	・イルミネーション(駅前・JR 都農駅) ・キャンドルナイト ・ワイナリーからの澄んだ景色 夜景、星空 ・神社初詣 ・立野ウォーキングコース(梅)	[12月上旬]産業まつり [12月4日、5日]日向国一之宮都農神社冬の火祭 [2月]結びのまつり [2月中旬]都農尾鈴マラソン大会 [2月中旬]GOURMET RIDE IN KOYU



不動公園の桜
(出典:都農町観光協会 HP より)



都農尾鈴マラソン大会
(出典:都農町観光協会 HP より)



キャンドルナイト
(出典:都農町観光協会 HP より)

(10)行政区

都農町には 44 の行政区があり、それぞれに自治会活動を行っており、地区単位で行事やお祭りなどを行っています。また、都農町内には 3 つの小学校、1つの中学校、令和 3 年 3 月に統廃合される県立高等学校があります。

表 2.2-7 小学校区割

都農小学校	明田	駅通	南新町	北新町	中町	湯の本	北町
	下菰生	中菰生	上菰生	木和田	木戸平	佃	藤見
	牧内	都農組	坂の上	岩山	西の郡	あさひ団地	
	平山(5, 6 年のみ)						
都農南小学校	篠別府	名貫	三日月原	松原	新今別府	新田・分子村	駅前
	福原尾	下浜	朝草	立野	轟	水洗・荒崎	春の山団地
都農東小学校	黒萩・丸溝	心見	山末	寺迫	征矢原	あけぼの団地	
内野々分校	長野	内野々	舟川	平山			

※内野々分校は 1～4 年まで、5～6 年は都農小学校、都農東小学校となる。

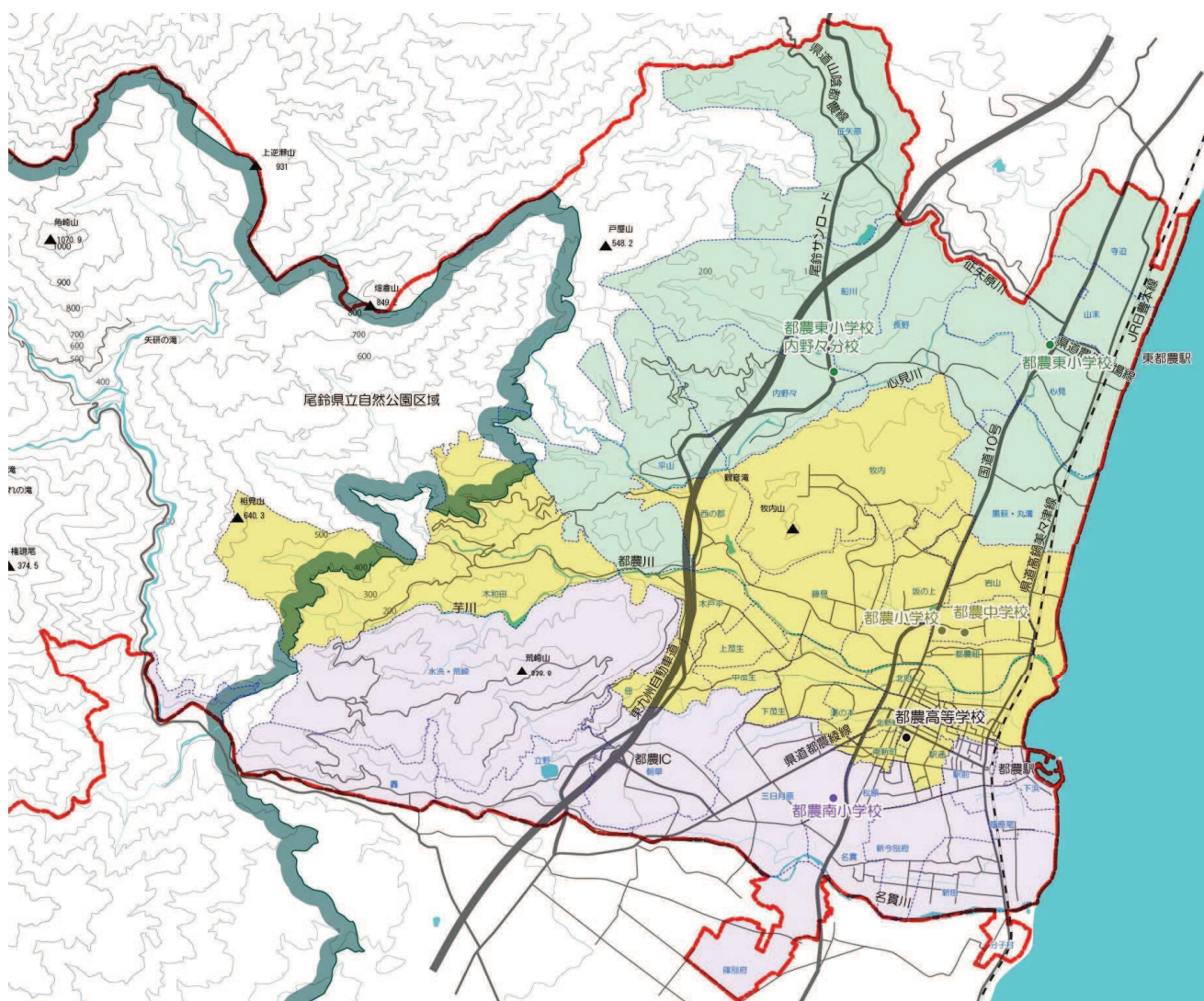


図 2.1-23 行政区と小学校区

各学校の校歌には地域の景観が歌われており、共通して以下のような言葉が出てきます。

尾鈴(けむる山)、日向灘(あおい海)、清き流れ(清流、川)、雄大の地(緑の大地、黒い土、果てなき田畑)、青い空、一之宮、歴史、郷土、誇り

都農小学校 校歌	作詞 安田 尚義 作曲 金堀 伸夫	一 仰ぐ尾鈴の 山高く 福浦浜の 海深し みのりゆたけき ふるさに 古き歴史を つたえたる 栄えここにあり 栄えここにあり 都農小学校	二 一の宮の森 神さびて 清き流れも かわりなし 世々のみ祖の きづきたる 郷土のほまれ 高めゆく 誇りここにあり 誇りここにあり 都農小学校	三 黒しおのぞみ 日にむこう この雄大の 地を占めて 心すなおに 身もつよく 知恵と個性を のばしゆく 希望ここにあり 希望ここにあり 都農小学校	四 あがる歌こえ ほがらかに 平和のちかい かためつつ 師弟ひとつに とけ合いて 足おとたくく すすみゆく 光りここにあり 光りここにあり 都農小学校
都農東小学校 校歌	作詞 長嶺 宏 作曲 海老原 直	一 四季のいろどり ほほえめる 緑の大地 青き空 故郷たのしく 今日ぞあり 平和 都農 東小	二 旭さんたる 日向なだ しゅうれい尾鈴 永遠に映ゆ 心見川の 清流に 晴れて母校の 窓うらら	三 しのぶ歴史の 二千年 気高き杜の 一の宮 たたえてわれら あすもゆく 都農 都農 東小	
都農南小学校 校歌	作詞 江原 白村 作曲 海老原 直	一 あおい海 ひかるくも ぼくらの こころも あかるく あおい さあ みんな なかよくはげまし すすもうよ 都農南の よい子ども	二 けむる山 かおる風 わたしの ひとみも やさしく けむる さあ みんな なかよくなぐさめ すすもうよ 都農南の よい子ども	三 くろい土 きよい水 ゆたかな ふるさと のびゆく われら さあ みんな なかよくかんがえ すすもうよ 都農南の よい子ども	
都農中学校 校歌	作詞 長友 定行 作曲 海老原 直	一 尾鈴の山なみ かすみ淡く 一の宮杜 歴史ぞ古き ああ清し 我らが母校 都農中学 久遠の理想 若きわれら 学徒の胸に輝く	二 果てなき田畑 幸をつつみ 荒波はるか 漁舟つらなる ああ楽し 我らが母校 都農中学 勤労の誓い 若きわれら 学徒の胸に定まる	三 人智は進み 文化は開け 宇宙の世紀 今ぞ始まる ああ貴し 我らが母校 都農中学 勉学の希望 若きわれら 学徒の胸に高鳴る	
宮崎県立都農高等学校 校歌	作詞 安田 尚義 作曲 矢野 義暁	一 朝ゆうに 尾鈴仰げば ゆく雲の 影もかがよい 胸にわく 久遠の理想 おおこそ 我ら学徒の 誇りの庭 都農高校	二 海陸の幸大いなる この郷に古きもたづね 新しき文化を築く おおこそ 我ら学徒の 学びの庭 都農高校	三 風清き学窓に養う 健康と若き力は はつらつと行く手を招く おおこそ 我ら学徒の 創造の庭 都農高校	